

安城市生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）
第2回策定委員会

日 時：令和7年2月14日 午前10時から11時まで

場 所：へきしんギャラクシープラザ 講座室

<委員出席者> 15名 ※欠席：石川清幸副委員長、原田正樹委員、香村恵介委員

【委員長】 野村 富雄 （市民 スポーツ推進審議会委員）

【委員】 石原 隆義 （社会教育委員）

松井 恵子 （社会教育委員）

鳥居 こずえ （社会教育委員）

西川 勝幸 （社会教育委員）

伊藤 朝野 （社会教育委員）

柳澤 義雄 （社会教育委員）

神谷 有弘 （社会教育委員）

浮森 和美 （社会教育委員）

神谷 浩 （社会教育委員）

桑田 智 （市民 スポーツ推進審議会委員）

河方 真司 （市民 公募市民）

小森 義史 （市民 公募市民）

高山 智子 （市民 公募市民）

大見 サキエ （市民 公募市民）

【助言者】 大村 恵 （愛知教育大学）

<事務局等出席者> 6名

大見 徹也 （生涯学習部 生涯学習課 課長）

松元 淳一 （生涯学習部 スポーツ課 課長）

神谷 高典 （生涯学習部 生涯学習課 課長補佐）

内藤 拓自 （生涯学習部 スポーツ課 課長補佐）

浅野 雄一郎 （生涯学習部 生涯学習課 生涯学習係 専門主査）

近藤 真弘 （生涯学習部 スポーツ課 スポーツ振興係 専門主査）

<委託業者> 2名

大谷 優 （株式会社 創建 政策研究第2グループ グループマネージャー）

西澤 薫 （株式会社 創建 政策研究第2グループ 研究員）

<次第>

1 市民憲章唱和

2 議 事

(1) アンケート調査の結果について

(2) 作業部会（ワークショップ）の開催について

(3) 令和7年度のスケジュールについて

3 その他

<配布資料>

- ・ 次第
- ・ 安城市生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）策定委員会名簿
- ・ 作業部会（ワークショップ）出席希望票
- ・ 令和7年度のスケジュールについて
- ・ 安城市生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）策定のためのアンケート調査報告書
- ・ 安城市生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）策定のためのアンケート調査報告書（概要版）

<議事概要>

1 市民憲章唱和

2 議事

(1) アンケート調査の結果について

- ・ 事務局よりアンケート調査の実施状況について説明を行った。
- ・ 次いで、委託業者よりアンケート調査の回答結果についての説明を行った。

(小森義史委員)

- ・ 18歳以上の市民へのアンケートは、郵送及びインターネットでの回収とのことだが、インターネットで回答された割合はどれくらいか。

(コンサル)

- ・ 概ね郵送での回答とインターネットでの回答の比率は2：1ほどであった。

(小森義史委員)

- ・ 回答者の年齢によって回答方法に差はあったのか。

(コンサル)

- ・若い世代の方がインターネットで回答する割合が高かった。
- ・一般的に郵送のアンケートでは、年齢が高い世代の方の回答率が高くなる傾向があるが、インターネットでの回答を可能にすることで、若い世代の回答率を上げて、回答者の年齢層の平準化が図れたのではないかと考えている。

(大見サキエ委員)

- ・アンケートにおける言葉の定義について、「生涯学習」については定義が書かれていたが、「地域活動」については定義が載っていなかった。
- ・「地域活動」と「生涯学習」の違いがよくわからないと感じたが、子どもたちは理解したうえで回答しているのか。
- ・また、現在小中学生の部活動は徐々に地域に移行していくということになっているため、子どもたちは、それも「地域活動」として捉えているのではないかと気になった。
- ・「地域活動」というものをどのように捉えて質問をしているのか。また、それらを区別できるような質問は含まれていたのか。

(コンサル)

- ・18歳以上の市民や中高生が対象のアンケートには、「地域活動」の定義も記載していたが、小学生へのアンケートには細かい説明を記載していなかったため、明確に区別して認識していない可能性はあると思われる。

(桑田智委員)

- ・職業について尋ねる設問があるが、職業別や子育て世代別の集計や分析はしているか。

(コンサル)

- ・主な設問については年齢別で集計を行ったが、職業別の分析等を行っていない。

(桑田智委員)

- ・職業の中身ではなく、就業しているかどうかというところや時間が有るか無いかで差が出るのではないか。

(コンサル)

- ・現時点では、そういった視点での分析はできていないため、ご意見を踏まえて就業状況別の分析も取り入れたいと思う。

(野村富雄委員長)

- ・他にご意見がないようであれば、議題（１）アンケート調査の結果について了承される方は、拍手をお願いしたい。

～委員拍手～

(野村富雄委員長)

- ・本日は助言者（アドバイザー）に来ていただいているので、こちらの議事についてご意見をいただきたいと思う。

(助言者)

- ・大人だけではなく、中高生や小学生といった、子どもに対しても調査を行っているところなど、非常に興味深いと思う。
- ・アンケートの切り口として「日常生活の充実感」を設定した点は、非常に重要だと思う。いわゆるウェルビーイングが、生涯学習・スポーツ・地域活動とどう関係しているのかについては、まだ明らかになっていないが、今回のアンケート結果からは、因果関係は不明なものに相当に相関性があることがうかがえる。そのため、生活の充実と活動の充実の双方向から働きかけていくことが重要である。
- ・アンケートの内容としては、スポーツ関連の設問の方が詳細で、生涯学習関連については具体的に調査をするという面では少し弱い印象を受けた。計画策定にあたっては、他の調査や、講座での振り返り等も活用していくとよいのではないか。
- ・「生涯学習をしているか」という設問があるが、生涯学習というのは特定の学習内容を指すものではなく、生涯にわたって学習を続けていくことを指す。そのため、今回の調査における聞き方は、回答者に混乱を招く聞き方である。また、小学生や中高生においても、授業を起点とした学習やコミュニティスクールでの活動など、学校内での活動として扱うか線引きが難しいものが増えていく。そのため、今後は線引きではなくこういった場所で学習に取り組んでいるのかを重視した調査をするのがよいと思われる。
- ・子どもの有無別の生涯学習、スポーツ、地域活動への参加率についての分析が、非常に興味深かった。子どもがいる回答者の方が各活動への参加率が高くなっており、子どもの存在が社会的活動につながっていることが考えられる。一方で、子ども会やスポーツクラブへの参加率は全国的に低下してきており、安城市においてもその傾向があるのではないかと考えられる。現状では、子どものいる回答者は社会的活動に取り組んでいるという結果が出ているが、その結果だけではなく、過去との比較も取り入れて考えていく必要がある。
- ・また、今回の調査では、子どもがいない回答者は社会との接点が少ないという点も明らかになっている。子どもがいない人に、社会との接点や活動に取り組むきっかけをどのように作っていくのかを考えていくことも大切であると思った。

- ・コミュニティスクールの構想は、今まで子どもの保護者が学校の活動に参加するという形だったものを、より地域の住民が参加しやすくすることで、学校を核とした地域づくりを進めていくというものである。こうした活動が、子どもがいない市民の社会的活動への参加のきっかけにつながられるのではないかと。
- ・運動実施率が非常に高く、前回調査時から 20 ポイント以上増加しているが、これは現場のスポーツ関係者等の実感とも一致しているのかについては疑問に思う。もし一致していないのであれば、調査の仕方等によって、増加したように見えるだけである可能性もある。そのため、単純にこの結果だけをみて目標を達成していると判断するのではなく、もう少し中身を精査してみるとよいのではないかとと思われる。
- ・スポーツ環境について、海外では、公園などにトレーニング器具等を設置し、いつでも誰でもそれが利用できる環境づくりがされている。このような、予約をしなくても、時間が空いたときや、やりたいと思ったときにすぐに取り組める、といった環境づくりが今後のスポーツ環境として大事ではないかと思うので、安城市でもご検討いただきたい。
- ・報告書本編 133 ページの中学生の結果について、地域活動への参加率が非常に高く素晴らしいと感じた。一方で、学区ごとの数値の差が非常に大きいことが気になった。中学校ごとの取組等、数値の違いが生まれる背景を明らかにすることで、どうすれば中学生が地域活動に参加できるのかのヒントが得られるのではないかとと思われる。
- ・感想は以上である。ぜひ、よい計画を作っていただきたい。

～助言者退室～

（２）作業部会（ワークショップ）の開催について

- ・事務局より作業部会（ワークショップ）の開催について説明を行った。

（柳澤義雄委員）

- ・作業部会では、地域の施設や組織、人材をどのように活用していくかについても考えていただきたい。そのため、参加者に対して、アンケートの結果だけではなく、そういった地域の施設等の情報についても事前に提供していただきたい。

（事務局 生涯学習課）

- ・参加者が安城市の施設等について知った上で作業部会に取り組んでいただけるよう、事前に資料を用意したいと思う。

（柳澤義雄委員）

- ・できれば、事務局として指針のようなものを出していただきたい。そうすることで作業部会もスムーズに進むのではないかとと思う。

(野村富雄委員長)

- ・他にご意見がないようなので、作業部会（ワークショップ）について了承される方は、拍手をお願いしたい。

～委員拍手～

(3) 令和7年度のスケジュールについて

- ・事務局より、令和7年度のスケジュールについて説明を行った。

(野村富雄委員長)

- ・議題(3)については特に質問も無いようなので、令和7年度のスケジュールについて了承される方は、拍手をお願いしたい。

～委員拍手～

(野村富雄委員長)

- ・以上で本日予定していた議題は全て終了した。

3 その他

- ・次回の策定委員会は令和7年6月26日(木)10時より開催予定。案内は改めて送付させていただきます。
- ・作業部会への参加を希望される方は、先ほどの説明の通り、2月21日(金)17時までに事務局に出席希望票を提出していただきたい。

以上